



平成 28 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社データホライゾン
代 表 者 名 代表取締役社長 内海 良夫
(コード番号：3628 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役経営管理部長 内藤 慎一郎
(T E L 082 - 279 - 5525)

通期業績予想の修正および特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 8 日に公表した平成 28 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 28 年 3 月期におきまして、下記の通り特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。なお、特別損失（減損損失）の計上は、平成 27 年 5 月 8 日に公表した業績予想にも反映しております。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,700	百万円 50	百万円 50	百万円 35	円 銭 10.06
今回修正予想 (B)	1,690	100	100	85	24.42
増減額 (B-A)	△10	50	50	50	
増減率 (%)	△0.6	100.0	100.0	142.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	1,272	△82	△71	△40	△11.61

(2) 修正の理由

当期の受注は順調に推移しましたが、売上高は、一部の案件で納期の遅れがあり、前回発表予想を若干下回る見込みとなりました。

損益面では、IT 業界の 2016 年問題による開発技術者の不足や、受注した大型案件の対応に研究開発要員をシフトしたことで研究開発費が減少し、営業利益および経常利益は、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

当期純利益については、前期までの繰越欠損金を解消することで法人税等の増加が抑えられ、前回発表予想に比べ大幅な増加となりました。

なお、「2.特別損失（減損損失）について」に記載しております減損損失は、前回発表予想に反映しております。

(注)本資料に記載の予想数値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 特別損失（減損損失）について

当社の保有する固定資産のうち、業務効率を向上させる新規システム開発を行った結果、今後の使用が見込まれないもしくは使用頻度が低下することとなった既存システムについて「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 16 百万円を計上いたします。

以上